

共栄児童館 事業評価表

※事業区分「1」…仕様書事業 事業区分「2」…自主事業(企画事業)

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数 H28	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28年度		乳幼児	小学生	中高生	大人	合計	
乳幼児と保護者を対象とした事業	1	① 乳幼児クラブ0歳 ・すくすくクラブ	月2回程度	10		16	100	1	0	108	209	0歳児のクラブでは、日本の心に触れながら、情緒を安定させる親子あそびとして、「わらべうた」をボランティアの講師を招いて年間で2回行った。特に後期は、日々の親子のふれあいに活かしてもらえるように、クラブの初めにもわらべうたあそびを取り入れた。母親達はリラックスできると、とても好評であった。
		② 乳幼児クラブ1歳 ・にこにこクラブ	月2回程度	10	13	16	216	2	0	220	438	1歳児はクラブの参加人数が一番多かった。散歩、サーキット遊び、新聞紙遊びなど、体を使って遊ぶものを多く取り入れた。共栄児童館には巧技台やエアートランポリンなど大掛かりなものがない分、傘、ゲームボックス、マットなどを使い、安全面に十分配慮しながら工夫をこらした。その場の流れを大切に、子ども達が意欲的に参加できることに重点を置いて行った。
		乳幼児クラブ2歳 ③ ・キダークラブ ・ちびっこクラブ	月2回程度	10		29	166	0	0	154	320	少人数のグループだったので、一人ひとりにきちんと向き合うことができた。キダークラブは、同じ大きさのダンボールを工場に譲っていただいて迷路を作ったり、クリスマスツリーを飾りながらサーキット遊びを行うなど、体力作りをしながら飽きずに遊ぶことができるようなプログラムを用意した。
	小 計					61	482	3	0	482	967	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28	H28						
乳幼児と保護者を対象とした事業	2	④ 自主事業 ・えいごであそぼう ・リトミックドレミ ・おさんぽクラブ ・タンタカたんじょうび会 ・幼児水遊び ・季節に合わせた行事 キラリン・たなばた会 お月見会 ハッピー・ハロウィン きららクリスマス会 ぱらっば豆まき会 ふわりんひなまつり会 ・おはなしあのね	随時		14	62	650	4	0	620	1274	28年度のおさんぽクラブは、健康推進委員の方々の協力で、児童館近辺や市内のお散歩コースから、その時の美しい場所、景色を見つけながら歩いた。それに加え、天候や季節を考慮し、屋内も歩くことができる体育館、陶磁器博物館などへも行った。参加者には、多治見市に広がる自然のすばらしさ、様々な施設の良さを知ってもらうことができた。年間を通し季節行事を行ったが、毎回フォトスポットを用意し、何の行事に参加したのかわかるようにした。投げる、探すといった幼児にもできる簡単な動作でできるゲームを行い、不思議や驚きを感じながら参加できる工夫をした。一連の季節行事がきっかけで親同士が仲良くなったという話もあり、児童館の役割を深く感じた。
		小 計				62	650	4	0	620	1274	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数 H28	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28							
児童を対象とした事業	1	① 一輪車クラブ	月2回程度	6	13	22	0	286	0	2	288	一輪車クラブは、狭い遊戯室で自分の演技に満足できることを考慮し、低学年と高学年に分かれて演技をすることにした。高学年は構成を自分達で考え、できる技を全て披露できた。また、乗れない子を高学年が支える姿もあり、低学年の良い見本となった。 子どもスタッフは、6年生が中心となって意見を出し合い活発に活動した。保育園や敬老会で人形劇を披露したが、幼児にはハイタッチ、お年寄りには丁寧なお辞儀など、場所や相手に配慮する事が出来るようになった。2月3月は自分達が卒業した後のことも考え、学校でスタッフ募集の放送を流す、ポスターを貼るなど、責任感のある子どもに育ってくれたことが嬉しい。活動が認められ、6年生は教育長詞を頂いた。
		子どもスタッフクラブ	月2回程度	6		22	70	149	0	112	331	
		チャレンジキッズ	月1回			11	7	160	0	16	183	
		② ボランティア活動	月1回程度	6		20	0	44	4	0	48	
	小計					75	77	639	4	130	850	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等
					H28	H28						
児童を対象とした事業	2	③ 自主事業 ・チャレンジ番付 ・春を見つけよう ・つくってあそぼう ・えらんでみい関連行事 ・新1年生あつまれ ・一輪車クラブ交流会 ・子どもスタッフまつり ・季節に合わせた行事 ワンダーデイキャンプ 科学工作 小学生水遊び 福祉体験（点字） 小学生ハロウィンパーティ クリスマス会	随時		14	53	77	528	10	140	755	18歳選挙権を受け、自分で考えて選ぶ練習をしてもらいたいと、毎月おたよりの裏に「えらんでme(みい)」というコーナーを設けた。児童館まつりの模擬店についてや館庭で何をして遊びたいかなど、子ども達が興味を引きそうな話題を用いて一つ一つを細かく説明し、児童館にて投票している。その結果はきちんと反映させトランプ大会、バレー大会など行った。将来、選挙は自分のためのものだという認識に繋がると良いと感じている。その他季節行事など多彩な事業を行ったこともあり、28年度と比べ小学生の来館人数は増加した。
		小 計					53	77	528	10	140	755

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等	
					H28	H28							
地域・多世代間交流事業	1	① 児童館まつり ・エンジョイ！わっしょい！ 児童館まつり	10月29日	1	13	1	65	84	2	87	238	児童館まつりでは、狭いスペースの中で盛りだくさんの内容をするために様々な工夫をしている。28年度は、館庭に飲食コーナーを設け、網戸を外し、大勢のお客様と子ども達が触れ合えるスペースを確保した。その結果多くの方に子ども達の生き生きした様子を披露できた。	
		② 移動児童館 ・20区夏祭り ・共栄文化祭	7月12日 11月13日			2	49	155	12	54	270	移動児童館として地域のお祭りに2回参加した。共栄文化祭では、中学生ボランティアと行ったゲームの他に、28年度児童館が行ってきた活動を展示した。また、子ども達に将来の夢を書いてもらい貼り付けた「夢のトーテムポール」も一緒に展示し、児童館が健全育成を担う地域の大切な場であることをPRした。	
	小 計						3	114	239	14	141	508	
	2	③ 自主事業 ・カブトムシの幼虫を育ててみよう ・カブトムシ K-1グランプリ ・さつま芋の苗植え、芋ほり ・消防署見学、 ・ガサガサ探検隊 ・母、父、敬老の日のプレゼント作り ・支援児遊びの広場 ・花もち作り ・正月遊びと凧作り ・働く車を見に行こう	随時		14	26	138	287	15	247	687	共栄児童館の特性を活かした、「カブトムシの幼虫を育てる」「カブトムシK-1グランプリ」は第3回になり恒例行事として定着してきた。また天候不良で川に入ることはできなかったが、28年度より「高田川ガサガサ探検」を再開した。他にも、湯たんぼで有名な樫窯での作陶体験、芋ほりなど、子ども達にとって、ふるさとのすばらしさを肌で感じることができる事業を行った。また高齢者が集う「ふれあいクラブ」と戦争の話や花もちづくりで多世代交流をした。事業としてのカウントはないが、毎月49区への出張児童館も実施した。	
	小 計						26	138	287	15	247	687	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等	
					H28	H28							
中高生事業	1	① 中学生ボランティア ・カブトムシ幼虫を育てよう ・カブトムシK-1グランプリ ・デイキャンプ ・ガサガサ探検隊 ・幼児水遊び ・児童館まつり ・共栄文化祭 ・花もち作り	随時	3	13	8	0	4	40	0	44	様々な行事で活躍し、臨機応変な動きや親切な対応をしてくれた本人と学校にお礼を述べた。中でも、共栄小学校で行われた「共栄文化祭」のボランティアは、児童館を通して地域に貢献する姿を、大勢の多世代の方々に見てもらうことができた。	
	小 計						8	0	4	40	0	44	
	2	② 自主事業 ・プレパパ、プレママ体験 ・宿題をしよう ・中学生卓球	随時		13	4	1	5	13	1	20	夏休みに行った「プレパパ・プレママ体験」は、妊婦擬似体験や新生児の人形を抱き重さを実感した後、子育て中の母親、保健師を交えてのディスカッションの中で、中学生が命の尊さと親への感謝を述べており、たいへん価値のあるものとなった。	
	小 計						4	1	5	13	1	20	

項目	事業区分	事業名	実施日	指定回数	年度評価	実施回数	平成28年度の参加人数					事業の内容、利用者の満足度・評価等	
					H28	H28							
子育てネットワークづくりの推進	1	① 子育て相談 ・子育て相談日	月1回	12	14	12	14	0	0	14	28	相談日に来館されることは少なかったが、別日に幼児の発育、社会性など、母親達の思いを受け止め寄り添いながら相談に乗っている。親からの相談が多い中、職員が以前勤務していた市之倉町から、高校生が進路について相談に来てくれた。保育士も選択の一つであったので、共栄保育園園長に連絡し、話をしていただいた。「保育はたいへんだが、子どものはじめての瞬間を見ることができる素晴らしい仕事」とアドバイスをいただいた。高校生は、自分にとって「仕事のやりがいとは何か」を考えるきっかけになったと話していた。	
		② 講習・講演・他連携 ・募金配分金事業 「親子で楽しむふれあい歌あそび」 「kajiiとあそぼう」 ・ワンぱくまつり(ボーイスカウト) ・ダンボール工作(精華公民館) ・ファミリー運動会 (滝呂、南姫児童センター)	随時	2		5	182	80	4	215	481	赤い羽根配分金事業と歳末募金配分金事業を福祉センターで行った。共栄児童館からも定員いっぱい申し込みがあり、定着した事業となっている。講習として夏に浴衣の着付けを行うべく講師をお願いしていたが、参加申込みがなく事業として成立させることができなかった。	
		② 母親クラブ ・母親クラブ支援 ハッピーママ	月1回			10	85	0	0	82	167	ハッピーママを母親クラブとして成立させたいと、活動の意義を中心に根気強く話してきた結果、29年度から発足できることとなった。今後は、地域の安全を母親の目線でしっかり確認してもらうこと、施設訪問、新米の母親のフォローなど活動の場を広げていってもらうため、職員も支援しながら見守っていきたい。	
	小 計						27	281	80	4	311	676	
	2	③	子育て 自主事業				0	0	0	0	0	0	
小 計						0	0	0	0	0	0		